

留学先国名 : オーストラリア

留学先学校名 : Southern Cross University

留学期間 : 平成 27年 9月 1日 ~ 平成 30年 6月 8日

私はオーストラリアのゴールドコーストで現在サザンクロスという大学でツーリズムとホスピタリティマネジメントというビジネス系の勉強をしています。今の課程に入学するにはIELTSという英語能力をはかるテストを受けて大学が定めているスコアを取るか、大学と提携している語学学校の定めているコースを卒業するかのどちらかで、私は語学学校に行くことにしました。なぜなら、IELTS で一定のスコアを収められる保証がないのと、語学学校に通うと IELTS では勉強できないスキルをつけると聞いたからです。聞いていた通り、これが今まで高校で習っていた内容からはかけはなれていてより実践的な能力をつけることができましたと思います。例えばライティングではレポートの内容や構成、リファレンスなどどれも今まで聞いたことのない新しいことをたくさん学びました。また、語学学校ではたくさんの人に出会いました。今まで国名しか聞いたことがないような国の人たちや文化や言語を学んだり、知っているようで知らない韓国や中国の文化や歴史、習慣など日本にいたら知ることができないようなことをたくさん学びました。

無事語学学校から卒業することができ、今年の7月から正規課程に入学したのですが、また語学学校と違って一段と難しいです。毎日新しい専門用語の単語や熟語が教科によって出てくるのでとても難しいです。もう英語を勉強している訳ではなく、ローカルの学生たちと経済や会計を勉強しているのではという自覚が芽生えました。

学校生活面で苦労したことはグループワークとディスカッションです。

グループワークでは、ローカルの学生たちと話をしますが、先生たちのようにはっきりとは喋ってくれないし、学生たちが実際の生活で使う聞きなれない言葉などにも苦労しています。それにグループは一度決めると途中で投げ出したり期日に遅れるとグループ全員に迷惑がかかってしまうので個人でのアサインメントより気を引き締めて取り組むことが重要で、それは実際反対の立場でもあり得ることで、自分のグループメイトの提出が遅れたりできなかつたりすると、ほかのメンバーがそれを補わないといけないので大変です。

ディスカッションでは自分に全く興味のない話題や難しい話題などでもちゃんと考えて意見を出さないとイケなかったのも、私は未だにそれが克服できていません。人前で話すこと、意見を言えること、それは海外ではとても大切なことで大きな評価の対象となります。

だから、今高校生のみなさんがやれるべきことは机に向かって勉強することが全てではないということです。海外の映画などをみてネイティブの崩れた英語や話し言葉を聞き取ること、海外のニュースに注目し、ディスカッションの時に自分の意見を言えるように知識をつけたりすることも海外の大学に通う上で大切な

要素の一つです。